

総務文教委員会記録

令和5年12月19日（火）
15時40分～16時35分
第1委員会室

【委員】 芦谷委員長、沖田副委員長、村武委員、岡本委員、永見委員、西田委員

【議長・委員外議員】

【事務局】 松井書記

【議題】

1 取組課題について（委員間で協議）

2 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[15 時 40 分 開議]

○芦谷委員長

ただいまから総務文教委員会を開会する。出席委員は6名で定足数に達している。レジュメに沿って進める。

1 取組課題について（委員間で協議）

○芦谷委員長

この委員会の取組課題のテーマについて各委員から案を提出してもらい、一覧表にまとめている。一人ずつ、提案したテーマについて説明をお願いします。

○村武委員

二つの案を出した。一つ目は「ふるさと教育の推進について」である。私は、子どもたちが生きる力を育む教育が本当に必要だと思っているし、文部科学省もそれを進めている。浜田市においても「ふるさと郷育」として実施しているが、それが本当に成果につながっているのかどうか、少し疑問に感じるところもあるので、これについて調査研究してはどうかと思った。島根県でも知事がふるさと教育の必要性について意見を出されたので、今後市町村においてもふるさと教育の必要性について考えていくのではないかと考えている。今日の新聞に、出雲市だったか、ふるさと教育を推進していくということが出ていたので、これをやっていきたい。視察先や先進地は今の段階でまだ出ていないが、益田市はライフキャリア教育の推進ということで随分進んでおり、地元の高校に進学する数がここ2、3年で随分増えたと聞いたので、うまく行っているのかなと感じる。

もう一つは「地域での防災の取組」で、これは進んでいるところは進んでいるので、もうやらなくても良いのではないかとされるかもしれないが、まだできていないところや、自主防災組織が設立されていても、それで本当に良いのかというところを研究していかないといけないのではないかと感じたので提案した。

○岡本委員

私は「地域社会がデジタル化に対応できる環境整備を進めていく取組」を上げている。先般、協働のまちづくり推進特別委員会において各地区のまちづくり推進委員会と意見交換をする中で、Wi-Fiの整備をお願いしたいという話が出た。私の活動の中でも、いわゆるデジタル化をもっと推進していかないと、防災やいろいろなことに対応できる社会を、もっと深く入り込んで、皆がその設備を有効に使えるような環境整備を求めたほうが良いのではないかとという観点で、防災・減災対策、移住・定住、過疎対策、高齢者が学び対応できるデジタル化社会というような形で、デジタル化に対応できる環境整備を進めることについて提案したい。

○永見委員

12月定例会議で一般質問したが、浜田市はずっと人口減少している中で、人口減少

対策に取り組んでいかなければいけないと考え、総務文教委員会として、地域の状況を見ながらやったらどうかという思いで、この課題を上げた。特に、先般質問して答弁いただいたが、若者の定住や生産年齢人口の確保などいろいろな問題があり、そのあたりについてしっかり確かめて取り組んでいけたらと思う。この取組については、海士町が定住人口の取組を具体的にやっているのだから、そのあたりも勉強しながら浜田市に参考にできないかという思いで取り上げた。

○西田委員

一つ目は「買い物弱者の現状と対策」ということで、これは総務文教委員会だけでなくほかの委員会の所管にも関わってくるので、なかなか絞りにくいところがあったが、総務文教委員会として喫緊の課題である。これだけ大型店舗等がたくさん出てきて、もともとあった地域の小売店がなくなっていき、買い物弱者がものすごく増えている。JA関連、Aコープ関連も先々の見通しがかなり厳しいという話もあって、どんどん店がなくなっていくと、買い物弱者がどんどん増える。その対策は地域公共交通や移動販売があったり、いろいろな方法があると思うが、もっと先を見通して抜本的な取組を、この委員会としてやったらどうかというのがある。

もう1点は、合併当初から五つの自治体にスポーツ施設がたくさんある。陸上競技場にしても野球場にしても体育館にしても、そういうものがたくさんあるが、今そのままだけで使われたり使われなかったりしながらきている。めり張りを付ける意味で、中にはプロスポーツが誘致できるような施設もあるし、もう少し整備すれば大きな大会も呼べるのではないかと。そういったことを含めて、戦略的に、例えば企業のプロスポーツの合宿を誘致するなど、人流や経済効果なども考えながら、戦略的なスポーツ施設の再配置をこの委員会から提案できたら良いと思った。

○沖田副委員長

上げたテーマは「カスタマーハラスメント」である。その背景にあるのが、本市においてもかなり早期退職が目立っている。もちろん退職する理由は一概には言えず、カスタマーハラスメントの関係性を証明することは難しいとは思いますが、これからの時代において、恐らくカスタマーハラスメントは必ず出てくる問題だろうと思う。これは行政に限らず、一般企業、特に接客業でも、この対策に悩んでいる企業や経営者が多くいるのではないかと。ただ、いかんせんデリケートな問題なので、なかなか民間企業で一步踏み出せないのであれば、行政サイドが何らかの模範を示していくべきではないかと常日頃思っている。ただ最大の問題が、先進事例がないことと、デリケートな問題だし、ハラスメントの定義付けがかなり難しい。上げておいて言うのも何だが、かなり難しいテーマだろうと思う。ゆえに研究していくのが良いと思う。最終的に目指すゴールは、規定や条例策定などはかなりハードルが高いが、そこに至らなくてもこの手のハラスメントは、もちろんしてはいけないということも大事だが、我々も当然そういう知識を持って、そのようになってはいけないという観点で上げた。

○芦谷委員長

私は「歴史文化の推進方策」である。今日も全員協議会が出たように、歴史文化、

石見神楽伝承館も含めて、大変間口が広く、なかなか議論が収束しない。私の切り口は、所管委員会としていろいろな状況を把握しながら、しっかりとした切り込みをして、総務文教委員会としての現状の把握なり、今後の方向性なりを出していったらというつもりである。

それでは、各委員からそれぞれの案が出された。ある程度方向性を絞る必要があるので、今の説明を受けて委員の中で質疑していきたいと思う。できればその質疑はテーマを絞り込む形でお願いしたい。

○西田委員

どれもなるほどと思った。デジタル化に対応というのも良いし、芦谷委員長の案も良い。私の二つの案も脈があると思っている。本当は議会で討論すれば良いくらいの議題なので、この委員会で研究するのはありだと思う。

○芦谷委員長

西田委員は「デジタル化」と「歴史文化」の二つと、あとはご自身の「買い物弱者対策」と「スポーツ施設の再配置」ということである。

○西田委員

買い物弱者については難しいのかなとも思う。福祉環境委員会の所管かもしれない。

○村武委員

産業建設委員会にも関わってくる。

○西田委員

喫緊の課題ではある。「スポーツ施設の再配置」も、合併して18年になり、どこかでメスを入れていかなければいけない部分もある。

○芦谷委員長

他の委員はどうか。

○村武委員

私は永見委員の「移住定住の推進」が気になった。今浜田市も取り組んではいるが、そこがあまり見えていない。UIターン者もいるが、その方からの意見を吸い上げて、それをまた何か施策に反映することもできていないと思うので、これは良いと思った。海士町にも行ってみたい。もしかしたらこういうことに取り組んでいる自治体は、私が提案したふるさと教育にも同じように取り組んでいるのではないかと感じた。

それと、沖田副委員長の「カスタマーハラスメント」は確かに難しい問題だと思うが、先日全国市議会議長会のフォーラムに会派で参加したが、そのときに大学の先生がこれについて随分取り上げておられた。この前から執行部の報告にもあるように、職員が早期退職するということもあり、これだけが原因ではないとは思いますが、研究してみても良いという気持ちはある。

○永見委員

西田委員が提案された「買い物弱者」について、これは地域井戸端会で三隅に行ったときに、買い物に関して大変な状況になってきているという切実な声を聞き、大きな問題ではないかと思う。先ほど、これは各委員会にも関連するという話があったが、

公共交通も絡んでくると思うので、総務文教委員会としても検討してみたらどうかと感じた。

○芦谷委員長

暫時休憩する。

[15 時 57 分 休憩]

[16 時 31 分 再開]

○芦谷委員長

委員会を再開する。休憩前に引き続いて議論を行うが、どなたか意見はあるか。

○沖田副委員長

先ほど皆に発表いただき、意見をいただいた中で、大きな方向性としては「買い物弱者対策」と「スポーツ施設の再配置」に意見が集中していたように思うので、この二つに絞って良いのではないかと思った。とは言え、この二つのテーマは、あまりにもカテゴリがあり過ぎるので、買い物弱者の何が課題かをもう少し委員で絞り込んで、また改めて協議する。スポーツ施設の再配置についても同様で、利活用なのか再配置計画なのかというところを、大項目の下に中項目を設けるイメージで、委員に持ち帰ってもらい、再度絞り出してもらおうという作業をしてみてはどうか。

○芦谷委員長

今の副委員長の意見について、何かあるか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今出たように、「買い物弱者対策」と「スポーツ施設の再配置」の二つのキーワードを中心に、また次の入り口や切り口を委員に検討してもらい、次の委員会で議論したいと思うが良いか。

(「はい」という声あり)

2 その他

○芦谷委員長

次回の委員会の日程を決めたい。

(以下、日程調整)

それでは次回総務文教委員会は、1月10日の10時ということを決定し、総務文教委員会を終了する。

[16 時 35 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員会委員長 芦谷 英夫